

新しい 価値づくりに チャレンジ

さが新時代を創る 2025

佐賀県の未来を切り拓くための予算として、
総額約5,130億円の令和7年度当初予算
を編成しました。

佐賀が飛躍するための鍵となるのは、この地
で暮らす「人」です。

人への投資が未来への投資となるよう取り
組み、さが新時代に向けて新しい価値をつくる
ことにチャレンジします。

県民の皆さんと力を合わせ、「世界に誇れる
佐賀づくり」をさらに推し進めていきます。

高い「志」をもって
果敢に挑戦し、
一人ひとりが輝ける
唯一無二の佐賀を創り、
未来につなげて
いきましょう！



佐賀県知事
よしのり
山口 祥義

3,900
万円

佐賀城本丸御殿の 「奥」に迫る

佐賀城本丸御殿の唯一無二の価値
を未来へつなげるため、藩主のプラ
イベート空間、いわゆる「大奥」の発
掘調査や情報発信を行います。



SSP構想は次なるステージへ

たとえば

育成県SAGAの実現

次世代につなげていくため、中高生アスリートの育成をさらに強化し、競技実績や
意欲を踏まえた強化対象競技の拡大に取り組みます。



パラスポーツの仲間を増やす

SAGA2024全障スポの想いを引き継ぎ、県独自の
全国規模のパラスポーツ大会の開催や、医療、
福祉、地域などが連携したネットワークづくりに
取り組みます。

スポーツ医科学サポートをより身近に

SAGAサンライズパークで、スポーツ医科学サポートが受けられよう、中央管理棟
を改修します。令和9年度に運用開始予定です。

8.4
億円



農林水産業をもっと元気に

たとえば

さが園芸888運動の推進

「磨き、稼ぎ、つながる農業」の実現に向け、トレー
ニングファームや園芸団地の整備に加え、露地園
芸の生産拡大と担い手の確保に取り組みます。



さかの水産業を未来へつなぐ

有明海では、海底耕うんによる二枚貝
の棲みよい環境づくりを進め、玄海で
は、イカ釣り漁と“はえ縄漁”などの
複合経営の試験的な検証も行います。



208
億円

産業の成長を 後押しします

たとえば

県内で活躍する人材の確保・定着

学生の2人に1人が奨学金を借りている時代。若
者が佐賀で安心して働けるように、従業員の奨学
金返還を支援する企業へ補助します。

外国人雇用をサポート

外国人を雇用する県内事業所は1,000を超え、今
後も増える見込み。県内企業向けに外国人雇用
に関する相談窓口を開設します。

佐賀で育った子どもたちの 県内就職を促進

キッズニアと連携し、小
中学生向けに佐賀のも
のづくり企業や伝統産業
をはじめ、現場に近い職
業体験プログラムを実施
します。



358
億円

4,700
万円

SSP Batons

～ボクたちがつくる
部活のカタチ～

SAGA2024国スポ・全障スポでは、スポーツを
「する」だけでなく、「観る」「支える」生徒も活
躍。この活躍を後輩につなげるため、学校ごと
に示される予算額の中で高校生が主体的に部
活動で使用する備品を決めるプロジェクトに取り
組みます。



3.3
億円

県立大学の 検討を進めて います

地域に愛され、ともに成長する大
学を目指して、カリキュラムや教
員規模などの検討、施設の設計
に取り組みます。



子育ての応援、医療・福祉の 充実に取り組みます

807
億円

たとえば

人の想いに寄り添う

出産した産婦人科で難聴のこどもを早期発見
できるように医療機関の検査機器の購入・買
い替えを支援します。これからも対象者の多い
少ないに関わらず、困難を抱えている県民の想
いに寄り添っていきます。



男女とも活躍できる社会

男性従業員が通算14日以上の子育休を取得した事業所に奨励金
を交付します。また、女性の健康課題への理解を広めるフェムケア
SAGAを開催し、課題解決に挑む事業所を伴走支援します。

子育てし大県“さが”プロジェクト

出会い・結婚から子育てまでライフステージに応
じた支援を展開。「プレコンセプションケア」の取り
組みとして、専門医による相談窓口の開設などを
行います。また、中高生に本を好きになってもらう
「SAGA本恋プロジェクト」に新たに取り組みます。

子育てし大県
“さが”



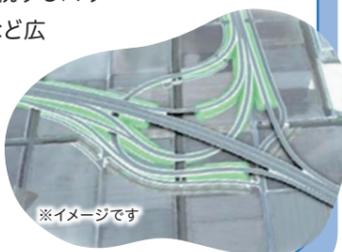
佐賀県子育て
応援キャラクター
さがびい

さがを支える 社会資本を整備します

有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続する「Tゾ
ン」における佐賀JCT(仮称)の工事など広
域的な幹線道路網の整備や、県民
の安全・安心な暮らしを守る
城原川ダムの
整備を推進し
ます。

Tゾーン

整備予定地
佐賀市嘉瀬町付近



※イメージです

383
億円

学びの環境づくりを進め、 こどもの挑戦を応援します

873
億円

たとえば

少人数学級の拡充

生徒に寄り添い、多様な学びをサポートするため、中学
1年生は少人数学級、中学2年生には選択制(少人数学
級またはチームティーチング)を導入します。



私立学校の運営支援

生徒たちが安心して勉学に打ち込めるように、学校運営を支援します。
また、県外からの入学促進も支援します。